



学校だより

令和3年度3月発行
学校法人松蔭学園
松蔭大学附属
松蔭中学校・高等学校
校長 川下 進

HP : <http://www.shoin.ed.jp/> Blog : <http://www.shoin.ed.jp/category/information/>

令和4年3月5日に卒業式が行われました

寒暖の激しい今日この頃、お別れもあれば出会いもある春です。

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

別れは出会いの始まりです。新しい環境がみなさんを待っています。不安もあると思いますが、是非とも期待に胸を膨らませ新生活をスタートさせて下さい。

母校はいつでもみなさんを応援しています。



☆高校三年生の各賞の受賞者☆

卒業式において、様々な方面の活動で、顕著な功績を残した人が表彰されます。
(敬称省略)

学校長賞

高校三年一組 柴崎 一啓

東京都知事賞

高校三年一組 柴崎 一啓

東京都私学財団奨励賞

高校三年三組 石原 瑞季

日本私立中学高等学校連合会賞

高校三年一組 中島 クラレンズ

東京都高等学校体育連盟体育優良賞

高校三年二組 秋山 柊音

東京都高等学校文化連盟賞

高校三年一組 濱谷 暖

高校三年三組 奥村 泰智

東京私立中学高等学校協会第八支部体育優良賞

高校三年一組 加藤 まなみ

東京都高等学校野球連盟賞

高校三年一組 菊池 愛翔

少し、時間があいてしまいましたが、今年度の卒業式の送辞・答辞の全文を公開いたします。今年度も残念ながら、密を避けるために式の会場には、各家庭保護者1名のみ限定し、在校生は参列することができませんでした。答辞・送辞には保護者の方や、在校生に向けたメッセージも含まれております。ぜひ、一読ください。

在校生 送辞

寒さも少しずつやわらぎ、吹く風にも春の訪れを感じられる季節となりました。三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

三年生の皆様は、松蔭生として過ごしてきた日々をどのように振り返っていらっしゃいますか。三年間歩いた通学路。春には満開の桜を、秋には金色に染まるイチョウ並木を見ながら登下校した日々。友達と笑いながら帰ったこと、時には肩を落としながら歩いたこともあったかもしれません。卒業を迎えた今日、先輩方の頭の中に浮かぶ光景はなんですか？

先輩方が学校生活を語るうえで、欠かせない事は、やはり新型コロナウイルスだと思います。緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置、「コロナ禍」という言葉も、今では普通に使われる言葉となっています。学習環境や部活動にも多くの配慮が必要となり、生活は一変しました。約二か月の休校期間を終えて学校が再開したとき、友だちと過ごせる時間が、とてもかけがえのないものなのだと感じたと思います。私が松蔭高校に入学したとき、先輩方の姿を見ることはできませんでした。部活動もできず、不安を抱えたまま学校が再開しました。私がやっと高校生活の始まりを実感したのは、先輩方から、コートネームで自分の名前を呼んでもらったときです。この時のことは、二年という月日が経った今でも鮮明に覚えています。先輩方はいつも笑顔で優しく、私たちに寄り添ってくださいました。部活動での最高学年を引き継いだ今、先輩方がいかに苦労しながら私たちをまとめ、支えてくださっていたか、ようやくわかるようになってきました。共にプレーできた時間は、例年と比べると短かったかもしれません。しかし、私にとっては忘れることのない時間です。本当にありがとうございました。

そして、先輩方と共に楽しめた行事は、三つだけでした。特に文化祭は、密を避けるなどの制約がある中で、先輩方は見事な装飾、企画内容を作り上げていました。先輩方が盛り上げてくださったおかげで、学校全体が華やかな雰囲気にもまれていたこと、印象に残っています。来年度も、私たちが盛大な文化祭を作り上げていきます。

私たちの日常は、新しい生活様式が当たり前のようになってきました。これから先も、すべての環境の変化をどう乗り越え、適応していくかが求められます。この社会の転換期を経

験している先輩方は、今後も物怖じすることなく、前を向いて進んでいかれることでしょう。この松蔭高校で培った経験と挑戦する心、そして仲間との絆が、将来きっと様々な場面で、自分を支える柱となってくれるはずです。時に険しい道が、そしてくじけそうになることもあると思います。そんな時は、共に過ごしてきたかけがえのない仲間、先生方のお言葉、そして私たち後輩のことを思い出してください。先輩方はいつまでも私たちの憧れです。これからも、私たちにとって、輝き続ける存在でいてください。私たちは、先輩方から学んだことを基に、その後をしっかりと引き継いでゆきたいと思います。

いつまでも名残は尽きません。本当は、ソーシャルディスタンスやマスク着用など気にせず、思いっきり笑って、抱き合って、卒業をお祝いしたかったです。お別れはとても寂しいですが、先輩方の、新たな未来への門出となる今日を、心より祝福いたします。そして、ますますのご活躍とご健康を心からお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

在校生代表 藤田 美咲

卒業生 答辞

桜のつぼみもほころび、春の訪れを告げるやわらかな風が、今、私達に旅立ちを促しています。このよき門出の日に、このような心温まる卒業式を挙げていただき、卒業生一同、心より感謝いたします。

平成31年4月、期待を胸に、緊張して臨んだ入学式。極度の人見知りの私にも明るく話しかけてくれる、そんな優しい仲間との出会いでした。あの日から3年の月日が過ぎ、本日、私達65名は松蔭高等学校を卒業いたします。

今週の月曜日、登校した私達を迎えてくれたのは、卓球場の壁一面に貼られた3年間の思い出の写真の数々でした。それは先生方からの心のこもったサプライズでした。懐かしい写真に、その時その時の思いが鮮やかによみがえりました。どの写真にも、はじける笑顔。振り返れば私達の3年間は笑顔にあふれていました。

1年生の5月、松蔭大学で行われた体育祭は、私達にとって最初で最後の体育祭となりました。たくさん練習して披露した松蔭ダンス。先輩たちも応援席で一緒に踊っていました。競技に応援に白熱して、閉会式にはみんなの日焼けした顔が並びました。夏休みには初めての学年行事、軽井沢での林間学校。自己紹介から始まり、レクリエーションで大盛り上がり、貿易ゲームでは特進クラスが本領を発揮して、圧巻でした。遠足や花火大会などの楽しい企画、一緒に勉強したり、進路について考えたりもしました。お風呂ではしゃいだり、夜遅くまでおしゃべりして、友だちとの距離がぐんと近づきました。秋に行われた文化祭では、1組がお化け屋敷、2組がジャングルカフェ、3組はグラデーボールバーを完成させました。放課後遅くまで残って準備して、当日はどのクラスも大盛況でした。

充実した高校1年が終わるころ、新型コロナウイルスの脅威が世界を襲いました。休校や行事の中止で、人生に一度の高校生活の楽しみが奪われた悔しさは大きいです。でもそんな状況を、ポジティブに乗り越えられたのは多くの人の支えがあったからです。休校中も電話で話したり、課題を助け合ったりした友だちの存在は本当に大きいものでした。そして、私達の感染予防に心を砕いてくださった先生方。文化祭代替イベントも私達のために実施できるよう尽力してくださいました。そのおかげで、3年生では球技大会や文化祭ができました。学年で力を合わせた脱出ゲーム。下校時間ぎりぎりまで作業し、みんなで一つのものを作り上げた時間はとても楽しく、充実していました。

私にとって高校生活を語る上で、欠かせないことが二つあります。一つ目は部活動です。部活動を通して心身共に成長することができました。でも、引退までの道のりは決して平坦なものではありませんでした。辞めたいと思ったこともありました。それでも最後までやり遂げられたのは仲間にも恵まれたからです。どんなにつらい状況も笑いにかえてしまう。仲間のために真剣に悩んでくれる。そんな素晴らしい仲間と時間を共有できたことが、本当に幸せでした。また、厳しく人間性を磨いてくださった顧問の先生方、支えてくれた後輩のみんな、応援してくださった保護者の皆さま、本当にありがとうございました。もう一つは受験です。私は受験を通して人の温かさにとくさん触れました。提出する課題や願書、面接練習など、お忙しいなか、親身になってサポートしてくださった先生方。ともに頑張り、励まし合い、力になってくれた友だち。発表の日、一緒に祈って、喜んでくれたあの瞬間を私はずっと忘れません。そして進む道を全力で応援してくれた家族にも心から感謝しています。高校生活の3分の2をコロナ禍で過ごした私達ですが、だからこそ学んだことがたくさんあります。そう胸を張って言えるのはこのように素晴らしい仲間や先生方と三年間を過ごしたからです。今、改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。先生方へ。いつも近くで私達を支えてくださり、ありがとうございました。個性豊かな先生方の授業は、真面目に学ぶだけでなく、笑い声があふれるような場面もあり、とても楽しかったです。コロナ禍でたくさんのご苦勞があったことと思いますが、色々な工夫で私達の高校生活を守ってくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

お父さん、お母さんへ。時には不安や悩みをぶつけてしまうこともありました。でも受け止めて、応援してくれて本当にありがとうございました。毎日特大サイズのおにぎりからもらえるパワー、落ち込んだ時の「おかえりなさい」の声の温かさに、何度も助けられました。まだまだ未熟な私たちですが、これからもっと成長して、両親を助けられるように頑張ります。

そして三年間をともに乗り越えたかけがえのない友だちへ。嬉しいとき、悲しいとき、いつも隣にいてくれました。くだらないことでおなかを抱えて笑った日常、ささいなことでもぶつかり合い、認め合ったこと。くじけそうなとき「一緒に頑張ろう」と寄り添ってくれたこと。一瞬一瞬が私の宝物です。「また明日」。何気ない言葉がこんなにも尊く、幸せだったと思えるのはみんなといたからです。ありがとう。

今年の体育祭で踊るはずだったダンス。体育祭の中止で延期となりましたが11月に校庭で披露することができました。曲は「はじめの一步」。「行け 飛べ 僕らはもう一人じゃない 新しい世界に飛び込むのさ」という歌詞が、みんなの笑顔とともに今、胸に響きます。

さあ、いよいよ出発の時です。私たちは一人じゃない。新しい世界に、いま、勇気をもって、はじめの一步を踏み出します。校長先生をはじめ、先生方皆様と、母校の末長きご発展を願いつつ、卒業生を代表してお別れの言葉といたします。